



(参考仮訳)

プレスリリース No. 07/221  
即時解禁  
2007年10月5日

国際通貨基金(IMF)  
米国・ワシントンDC

### IMFC、トンマーゾ・パドア・スキオッパ氏を新議長に選出

国際通貨金融委員会 (IMFC) は、イタリア経済財務相のトンマーゾ・パドア・スキオッパ氏をIMFC議長に選出した。IMFCは国際通貨基金 (IMF) に政策方針を示す委員会である。パドア・スキオッパ氏は2007年7月に退任したゴードン・ブラウン前英蔵相の後任となる。同氏はIMFC議長職を3年までの任期で務めることで同意した。

パドア・スキオッパ氏は2006年5月にイタリア経済財務相に着任した。同氏は1998年—2005年に欧州中央銀行 (ECB) 理事を務め、それ以前にはイタリアの金融市場監督当局 (イタリア国家証券委員会=Consob) の委員長のほか、イタリア銀行や欧州委員会においても要職を歴任した。また経済・通貨問題に関する欧州内外の様々な委員会で主導的な役割を果たした。

IMFCは、1974年に設置された暫定委員会を前身とし、1999年9月にIMF総務会の主たる諮問機関としての役割を強化するべく設置された。IMFCは、国際通貨システムの運営状況の監視やシステムの安定を脅かす突発的混乱への対応に関して総務会に助言し、またIMFが直面する主要政策課題について協議する。

IMFCは、IMF理事会の構成を反映した24人の委員から成る。IMFC委員を指名するのは、IMF理事を指名するそれぞれの国およびグループの代表としてIMF理事を選出するそれぞれの加盟国グループである。IMFC委員はIMF総務、閣僚あるいはそれと同等の役職にある者が務める。IMFCは通常年に2回、春と年次総会の前に開催され、次回会合は今年10月20日にワシントンDCで開かれる。